



## 町長エッセイ



今年も小川町最大のお祭り「七夕まつり」が、たくさんの皆様のご協力で、無事終了することができました。

上田埼玉県知事と近隣の首長さん、議長さん、地元選出の衆議院議員と県議一行をご案内することができました。

屋台から聞こえてくるお囃子は祭り気分を盛り上げてくれましたが、私の子供のころは、「七夕まつり」と「祇園祭」は別の日でした。祇園祭が先で7月下旬、七夕まつりが月遅れの8月7日と記憶しております。

七夕まつりは何ととっても和紙です。色とりどりの和紙が使われたクス玉、その吹き流しの下を通り抜ける時に聞こえる紙ずれの音と感触がおもしろく、何度もくぐったものです。七夕飾りは商店だけでなく、各家々の軒先にも飾られ、笹竹が隠れるほどの和紙の短冊を吊るし、願い事が書いてありました。

「祇園祭」にも強く印象に残っている出来事があります。お神輿です。「あばれ神輿」の名があり、上と下にわかれて神楽を争奪する勇壮なもので、その流れでどこに入るか予想ができません。各町内から高張提灯や町内提灯を持った人たちが神輿を警護し誘導しますが、思うとおりに進んでくれません。

私の実家の側には東上線の踏切があります。踏切を行ったり来たりしてなかなか通り過ぎず、電車がこないかと、ハラハラしながら見ていたものです。ある時、勢いあまって池田橋の上からお神輿を兜川に落とすと聞き、そのすさまじさと勇壮さに驚かされました。